

主な内容

●平成 24 年第 1 回臨時会

議会新体制でスタート …… 2～5 ページ

議長・副議長就任あいさつ …… 3 ページ

●平成 23 年 12 月定例会

市長の提案説明 …… 6 ページ

委員会の主な審査内容、討論 …… 7～8 ページ

議会改革 …… 9 ページ

提出議案とその結果 …… 10 ページ

市政に対する一般質問 …… 11～15 ページ

請願の結果・今議会で決まった人事 …… 15 ページ

委員会活動、意見書 …… 16 ページ

あ げ お 議会 だより

あなたにほんきをあくるまち



上尾市



鬼のお面づくり（市内保育所）

平成 23 年 12 月定例会日程

- 12月12日……開会、議案の上程、提出議案の説明、提出議案に対する
質疑、委員会付託
- 12月13日……総務・建設水道消防常任委員会
- 12月14日……文教経済・福祉常任委員会
- 12月15日……一般質問
- 12月16日……一般質問
- 12月19日……一般質問
- 12月22日……委員長報告、討論、採決、議員提出議案の上程・採決、
閉会

第158号

平成24年(2012)
2月号

発行/上尾市議会
編集/議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町3-1-1
電話048-775-9467

第 1 回 臨時 会

改選後の議会新体制でスタート



第 1 回臨時会の議長選挙の様子

議長に岡田武雄議員 副議長に橋北富雄議員 各常任委員会委員など決定

臨時会では、はじめに矢部勝巳議員が臨時議長となり議長選挙を行い、続いて新議長により副議長選挙を行いました。

結果、第 45 代議長に岡田武雄議員（新政クラブ）、第 41 代副議長に橋北富雄議員（公明党）が選出されました。

●議長選挙の結果

岡田武雄議員（新政クラブ）	19 票
糟谷珠紀議員（共産党）	3 票
小林守利議員（無党派）	1 票
無効票	7 票
※投票総数	30 票

1 月 6 日、改選後初めての臨時会が開かれました。この議会では、正副議長の選挙、各常任委員会委員・議会運営委員会委員の選任、一部事務組合議会議員の選挙、上尾市選挙管理委員・同補充員の選挙などを行いました。また市長提出議案として「監査委員の選任について」の 1 件を審議し、原案のとおり同意しました。

●副議長選挙の結果

橋北富雄議員（公明党）	25 票
秋山もえ議員（共産党）	3 票
無効票	2 票
※投票総数	30 票

岡田武雄議長は昭和 24 年生まれ、市議当選 4 回。議会運営委員会委員長、建設水道常任委員会委員長などを歴任。

橋北富雄副議長は、昭和 31 年生まれ、市議当選 3 回。建設水道消防常任委員会委員長、議会運営委員会副委員長などを歴任。

常任委員会

上尾市議会では、議案審査を行うために四つの常任委員会を設けています。議員は、それぞれ一つの常任委員会に属し、今後 2 年間は常任委員として所管部門に属する事務についての調査や議案、請願などの審査に当たります。

総務常任委員会（8 人）

〈所管事項〉一般会計歳入、行財政運営、青少年の健全育成、選挙、監査など

委員長 長沢 純（公明党）
副委員長 井上 茂（市民の力）
委員 大室 尚（新政クラブ）
委員 前島るり（公明党）

誰もが安心して暮らせる 街づくりの推進と 開かれた議会を目指して



議長
岡田 武雄



副議長
橋北 富雄

市民の皆様には、日ごろから市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちは、1月6日の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により第45代議長、第41代副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であるとともに、その職責の重さを改めて痛感しているところでございます。もとより微力ではございますが、公正かつ円滑な議会運営に誠心誠意努め、その使命達成に最

善を尽くす決意でございます。

現在、少子高齢化が進展し社会経済情勢が非常に厳しさを増している中、議会といたしましても、行財政改革を推進し柔軟かつ的確に対応していかなければなりません。こうした課題に立ち向かうためには、二元代表制の一翼を担う市議会は、議会に与えられた機能を最大限に発揮しながら、市行政に対するチェック機能を果たすことはもとより、市民の皆様へのニーズを把握することに努め、提言力・政策力を高めていく必要があると考えております。

また、従来の慣例にとらわれることなく、より一層の創意工夫と努力を積み重ねるとともに、市民の皆様が住み慣れた地域の中で、安全で、安心して暮らせる街づくりの推進のため、自ら研鑽^{けんさん}を深め、議会の改革、活性化に努めていくことが、私たち議員の使命であると考えています。

どうか今後とも市民の皆様への、より一層のご支援、ご鞭撻^{べんたつ}を心からお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のみまますのご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、就任のあいさつとさせていただきます。

文教経済常任委員会 (7人)

- 委員 浦和 三郎 (友愛クラブ)
- 委員 矢部 勝巳 (政和クラブ)
- 委員 清水 義憲 (新政クラブ)
- 委員 岡田 武雄 (新政クラブ)

〈所管事項〉 環境、ごみ処理、農業、商業、工業、学校教育、生涯学習、スポーツ振興など

- 委員 長 箕輪 登 (新政クラブ)
- 副委員長 秋山 かほる (市民の力)
- 委員 小林 守利 (無党派)
- 委員 鈴木 茂 (新政クラブ)
- 委員 平田 通子 (共産党)
- 委員 嶋田 一孝 (政和クラブ)
- 委員 道下 文男 (公明党)

建設水道消防常任委員会 (7人)

- 〈所管事項〉 都市計画、区画整理、公園、道路、上・下水道、河川、消防など
- 委員長 渡辺 綱一 (新政クラブ)
- 副委員長 池野 耕司 (友愛クラブ)
- 委員 新井 金作 (無党派)
- 委員 野本 順一 (政和クラブ)
- 委員 田中 守 (新政クラブ)
- 委員 伊藤 美佐子 (公明党)
- 委員 糟谷 珠紀 (共産党)

福祉常任委員会 (8人)

- 〈所管事項〉 福祉、国民健康保険、

- 国民年金、交通対策、防犯、保健衛生など
- 委員長 田中 元三郎 (政和クラブ)
- 副委員長 秋山 もえ (共産党)
- 委員 小川 明仁 (新政クラブ)
- 委員 星野 良行 (新政クラブ)
- 委員 斉藤 哲雄 (市民の力)
- 委員 深山 孝 (新政クラブ)
- 委員 町田 皇介 (友愛クラブ)
- 委員 橋北 富雄 (公明党)

議会運営委員会 (10人)

- 議会運営のため議員間の意見調整を行い、会期、議事日程など議会を円滑に進行させるとともに、議会に関する条例・規則などの審査に当たります。
- 委員長 清水 義憲 (新政クラブ)
- 副委員長 町田 皇介 (友愛クラブ)
- 委員 鈴木 茂 (新政クラブ)
- 委員 嶋田 一孝 (政和クラブ)
- 委員 箕輪 登 (新政クラブ)
- 委員 長沢 純 (公明党)
- 委員 道下 文男 (公明党)
- 委員 井上 茂 (市民の力)
- 委員 秋山 もえ (共産党)
- 委員 田中 守 (新政クラブ)

議会報編集委員会 (8人)

- 定例会や臨時会の審議内容、議決結果、一般質問など市議会の動

きを市民の皆さんにお知らせする「あげお議会だより」の編集に当たります。

- 委員長 鈴木 茂 (新政クラブ)
- 副委員長 浦和 三郎 (友愛クラブ)
- 委員 小川 明仁 (新政クラブ)
- 委員 星野 良行 (新政クラブ)
- 委員 前島 るり (公明党)
- 委員 齊藤 哲雄 (市民の力)
- 委員 秋山 もえ (共産党)
- 委員 田中 元三郎 (政和クラブ)

一部事務組合協議会議員

地方公共団体の事務の一部を効率よく広域で処理するために、一部事務組合を設けることができず。

上尾市が構成団体となっている一部事務組合は二つあり、その組合議会に一定数の議員が選出されています。

埼玉県都市競艇組合議会議員 (15団体、定数28人)

田中 守 (新政クラブ)

上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員 (3団体、定数12人)

- 渡辺 綱一 (新政クラブ)
- 長沢 純 (公明党)
- 井上 茂 (市民の力)
- 矢部 勝巳 (政和クラブ)
- 池野 耕司 (友愛クラブ)

議会選出の監査委員

市監査委員 (定数3人) のうち、議会選出の監査委員として深山孝議員 (新政クラブ) を選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

深山孝議員は、昭和31年生まれ、市議当選3回。総務常任委員会委員長、同委員会副委員長などを歴任。

選挙管理委員に

松本弘道氏ら4人を選出

上尾市選挙管理委員と同補充員の任期が、今年2月2日で満了となるため、本臨時会でその選挙が行われました。結果は次のとおりです (敬称略)。

なお、任期は、平成24年2月3日～平成28年2月2日です。

選挙管理委員

- 松本 弘道
- 黒須 達也
- 日水 正敏
- 鈴木 博

選挙管理委員補充員

- 小澤 康雄
- 前島 義光
- 大木 保司
- 大場 玲子

各会派の構成はこのように

30人の議員で構成する市議会

では、主義主張を同じくする議員3人以上で会派を結成することができません。今回、改選されたことに伴い、新政クラブ、公明党上尾市議団、政和クラブ、友愛クラブ、日本共産党上尾市

議会議員団、無所属の会・市民の力の6会派が結成されました。各会派の構成は次のとおりです。

政和クラブ (4人)

- 矢部 勝巳 嶋田 一孝
- 野本 順一 田中 元三郎

友愛クラブ (3人)

- 池野 耕司 浦和 三郎
- 町田 皇介

日本共産党上尾市議会議員団 (3人)

- 糟谷 珠紀 平田 通子
- 秋山 もえ

新政クラブ (10人)

- 田中 守 小川 明仁
- 星野 良行 大室 尚
- 鈴木 茂 箕輪 登
- 渡辺 綱一 深山 孝
- 清水 義憲 岡田 武雄

無所属の会・市民の力 (3人)

- 秋山 かほる 齊藤 哲雄
- 井上 茂

会派に属さない議員 (2人)

- 新井 金作 小林 守利

公明党上尾市議団 (5人)

- 伊藤 美佐子 前島 るり
- 長沢 純 道下 文男
- 橋北 富雄

○印は会派の代表を示し、代表以外は議席番号順です。

各種附属委員会等議会選出委員名簿 (平成24年1月6日現在)

(議席順)

- 上尾市総合計画審議会委員 (5人)
前島 るり、嶋田 一孝、箕輪 登
田中 守、糟谷 珠紀
- 上尾市スポーツ推進審議会委員 (3人)
大室 尚、嶋田 一孝、道下 文男
- 上尾市保育審議会委員 (3人)
鈴木 茂、道下 文男、田中元三郎
- 上尾市介護保険事業計画等推進委員会委員(2人)
小川 明仁、橋北 富雄
- 上尾市国民健康保険運営協議会委員 (6人)
星野 良行、箕輪 登、長沢 純
秋山 もえ、田中元三郎、秋山かほる
- 上尾市環境審議会委員 (3人)
前島 るり、野本 順一、清水 義憲
- 上尾市融資審査委員会委員 (2人)
深山 孝、伊藤美佐子
- 上尾市下水道事業審議会委員 (5人)
大室 尚、前島 るり、野本 順一
渡辺 綱一、池野 耕司
- 上尾市土地開発公社理事 (2人)
野本 順一、深山 孝
- 上尾市上水道委員会委員 (6人)
小川 明仁、野本 順一、道下 文男
田中 守、池野 耕司、秋山かほる
- 上尾市地域医療に関する懇話会委員 (6人)
星野 良行、長沢 純、町田 皇介
田中元三郎、田中 守、糟谷 珠紀
- 上尾・伊奈広域行政協議会委員 (10人)
小川 明仁、星野 良行、浦和 三郎
斉藤 哲雄、平田 通子、嶋田 一孝
深山 孝、長沢 純、岡田 武雄
橋北 富雄
- 上尾市鉄道輸送力増強推進協議会委員 (5人)
大室 尚、長沢 純、岡田 武雄
橋北 富雄、伊藤美佐子
- 上尾市都市計画審議会委員 (6人)
道下 文男、町田 皇介、井上 茂
矢部 勝巳、清水 義憲、糟谷 珠紀
- 上尾市青少年問題協議会委員 (4人)
箕輪 登、渡辺 綱一、長沢 純
田中元三郎
- 上尾市民生委員推薦会委員 (2人)
秋山 もえ、田中元三郎
- 上尾市廃棄物減量等推進審議会委員 (2人)
箕輪 登、秋山かほる
- 高崎線輸送力増強推進協議会委員 (1人)
岡田 武雄
- 社会福祉法人上尾市社会福祉協議会理事(1人)
岡田 武雄
- 上尾市健康づくり推進協議会委員 (1人)
田中元三郎
- 上尾市農業後継者育成確保推進対策協議会委員
箕輪 登 (1人)
- 上尾市消防賞じゅつ金等審査委員会委員
渡辺 綱一 (1人)
- 上尾市立小・中学校通学区域検討協議会委員
箕輪 登、秋山かほる (2人)
- 上尾市表彰審査会委員 (2人)
岡田 武雄、橋北 富雄
- 上尾市地方防犯協会理事 (1人)
岡田 武雄
- 上尾地区暴力排除推進協議会理事 (1人)
岡田 武雄
- 上尾市上尾道路対策協議会委員 (14人)
新井 金作、小林 守利、鈴木 茂
浦和 三郎、嶋田 一孝、箕輪 登
道下 文男、秋山 もえ、田中元三郎
矢部 勝巳、伊藤美佐子、池野 耕司
秋山かほる、糟谷 珠紀

平成24年第1回臨時会提出議案とその結果

◎市長提出議案 (1件)

○=賛成

議案番号	件名	議決結果	新政	公明	政和	友愛	共産	市民の力	無会派
議案第1号	監査委員の選任について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○

※新政=新政クラブ(10人)、公明=公明党上尾市議団(5人)、政和=政和クラブ(4人)、友愛=友愛クラブ(3人)、共産=日本共産党上尾市議会議員団(3人)、市民の力=無所属の会・市民の力(3人)、無会派=会派に属さない議員(2人)

12 月 定 例 会



12 月定例会で提案説明する市長（後ろは中村前議長）

市長の提案説明から

○上尾市一般会計補正予算

今回の補正予算は、市民の安心・安全を確保する観点から、放射線測定器の整備・充実を図るとともに、省エネ対策をより推進する観点から、住宅用太陽光発電システムの設定などに対する奨励金を倍増するほか、年度も残り少ないことから、扶助費などの事業費の決算見込みに伴う関連予算の整理を行うものである。

その結果、補正額は 2 億 1 9 9 4 万円、累計予算額は 5 7 6 億 8

12 月定例会で審議した議案は、市長提出議案および諮問が 10 件、議員提出議案 3 件の計 13 件で、うち 12 件を可決・異議なき旨答申し、1 件を否決したほか、9 月定例会で閉会中の継続審査として、決算特別委員会に付託した平成 22 年度各会計歳入歳出決算議案も原案のとおり認定しました。

5 7 9 万円となった。

〈主な事業〉

新たに実施する「放射能測定器整備事業」については、市では、11 月上旬から子どもが多く利用する約 3 0 0 の公共施設などにおいて詳細な測定を実施し、ホットスポットの発見と、市が定めた除染基準値を超える箇所について、被ばく低減に向けた除染対策を実施している。

この放射能対策は、今後も継続して取り組む必要があることから、市内すべての小・中学校、保育所など多くの子どもが利用する施設に放射線測定器を配備するとともに、

に、市民貸し出し用の測定器を市役所本庁舎、支所・出張所に配備し、さらには、学校給食や直売所で販売する農産物などへの不安を解消し、安心を確保するため、新たに食品放射能測定システムを整備するものである。

「省エネ対策推進事業」は、市民の自主的な省エネ対策活動への奨励金について、当初予算額を上回る申請があったため、節電・省エネ対策をより推進する観点から、増額補正するものである。

「こども医療費支給事業」は、受診者数の変動を踏まえ、年度も残り少ないことから、事業費の決算見込額と当初予算額との差額を増額補正するものである。

債務負担行為の補正の主なものについては、「中学校普通教室エアコン機器借上」は、今年度の小学校への設置に引き続き、平成 24 年 7 月までにすべての中学校の普通教室にエアコンを設置するため、また、「市民体育館大規模改造（耐震補強）設計業務」は、東日本大震災の影響により、現在、メインアリーナが使用できない状況となっている市民体育館について、耐震診断の結果を踏まえ、早急に耐震補強と併せた大規模改造

工事を行うべく、その設計業務を実施するため、それぞれ債務負担行為を設定するものである。

○水道事業会計補正予算
企業債の借換えに係る償還金について増額補正するものである。

○条例その他

上尾市瓦葺ふれあい広場条例の制定については、市民相互のふれあいと交流を促進する場を設けることにより、市民の心身の健康の保持および増進を図るため、瓦葺ふれあい広場を設置したいので提案する。

財産の取得については、消防ポンプ自動車を取得するため、定めるところにより提案する。

公の施設の指定管理者の指定については、上尾市健康プラザわくわくランドの管理に関し、指定管理者を指定したいので、定めるところにより提案する。

彩の国さいたまづくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少についておよび埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少については、両広域連合を組織する地方公共団体の数が減少することについて協議したいので、定めるところにより提案する。

委員会審査から

総務、文教経済、建設水道消防、福祉の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。

以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

文教経済常任委員会

放射線測定器を

110台購入

〈メモ〉放射線量の継続的なモニタリングを強化するため、放射線測定器110台と食品放射能測定システム1台を購入するもの。

委員 測定器の貸出場所・料金・期間について伺いたい。

答 110台中の16台を市役所生活環境課、支所、出張所で貸し出す。詳細については現在検討中であるが、市内在住者については、無料貸し出しを考えている。

委員 具体的な除染の方法や民地で高い放射線量が計測された場合の市の対応について伺いたい。

答 公共施設では地表から1センチメートルのところを毎時0.23マイクロシーベルトを超えた場

合、除染の対象とする。除染した土は、基本的には発生した施設内で処理するため、穴を掘り、ビニール袋に入れ埋める。民地で高い放射線量が計測された場合の対応については、総合的に検討していく必要がある。

指定管理 わくわくランドの指定管理者が決定

〈メモ〉健康プラザわくわくランドの指定管理期間が今年度末で期限を迎えるため、改めて公募した結果、シンコースポーツ・協栄共同事業体を指定するもの。指定期間は平成24年度から5年間。

委員 選考の中で決め手となった決定的な理由は何か。また、指定することにより、新たに市民が受けられるメリットは何か伺いたい。

答 書類審査とプレゼンテーションを行い、その点数の合計点を出し、選定委員の平均点の上位から決定した。民間の場合、独自の事業を組むことができサービスの向上が図れる。なお特徴の一つとして、人が沈んだことを感知するプールの管理システムを導入するなどの提案があった。

委員 これまでと比べ、どのく

らいの経費削減になるか伺いたい。

答 プレゼンテーションでは、5年間でおよそ8000万円少なくなる。

総務常任委員会

バナナキッズの入所実績に応じた補助金を計上

〈メモ〉障害児学童保育室バナナキッズの今年度の入所実績が当初予算を下回ったため、実績に基づき補正計上。

委員 バナナキッズの児童・生徒数が当初予算時と比べて減った理由を伺いたい。

答 子どもを一時的に預かるレスパイトというシステムを利用する保護者がいること。また、バナナキッズは保護者が運営しているため、バザーを行ったり、指導員が足りない時に保護者が入ったりすることが負担であるということ。2万円の保育料が家庭により負担であることなどである。

建設水道消防常任委員会

留保された再開発補助金を計上

〈メモ〉事業の進捗が停滞して

いた再開発組合に対し、緊急的に上乗せ補助を行うもので、震災の影響で留保されていた分を計上。

委員 都市・地域再生緊急促進事業補助金の一部が留保されていた理由を伺いたい。また、補助金が留保された時期と解除された時期を伺いたい。

答 東日本大震災関係の財源確保のために補助金の5%分を留保したと国から説明を受けている。留保することの連絡を平成23年5月に受け、解除の連絡を10月に受けたことから本定例会で補正することとなった。

福祉常任委員会

母子家庭の就業を支援する費用が増加

〈メモ〉母子家庭の母の雇用の安定と就業の促進を図るため、教育訓練給付金と高等技能訓練促進費の支給件数の増加を見込んだ経費を計上。

委員 母子家庭の数があまり変動していないが、約5割の増額補正となった理由を伺いたい。

答 主に増額となった高等技能訓練促進費の情報が対象者に十分伝わっていたこと、また平成24年

7

3月31日までに資格取得のため養成機関で修業を始めた場合、修業期間の全期間を支給対象とする特例措置があったことが増加の要因だと思われる。

**補正予算
こども医療費の支給増
に対応する費用を計上**

〈メモ〉こども医療費の支給に不足が生じるため、当初予算比19・9%の増額費用を計上。

委員 これからインフルエンザの流行などによって支給が増えると思うが、この予算で間に合うのか伺いたい。

答 こども医療費については、診療月の2カ月後に支払っている。今後、インフルエンザなどが流行しても来年度の予算で支払うケースが増えるため、今年度の予算が不足することはないと考えている。

**市長提出議案に
対する反対討論**

要旨

公の施設の指定管理者の指定について、公の施設は住民の福祉を増進する目的をもって建てられている。税金で建てた施設を民間企業の利益のために供給することはなく、指定管理者制度の導入には

一貫して反対である。また、わくわくランドは市の直営にして、市の政策と直結した施設として運営されるべきである。

決算審査

平成22年度決算議案8件を認定

決算特別委員会は、平成23年9月26日（10月4日に委員会を開催し、平成23年9月定例会で閉会中の継続審査として付託された、平成22年度一般会計、特別会計（6件）、水道事業会計の各決算認定議案8件について慎重に審査を行いました。審査に当たっては、①予算執行の適合性②予算に対する収入・支出の妥当性③次年度以降の改善点等について④の3項目を中心に審査を行い、いずれも原案のとおり認定しました。

決算反対討論

要旨

平成22年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について、自衛官募集事務費委託金および投票人名簿システム構築交付金は、軍事力に頼らず憲法9条を守ることこそ真の国際貢献であると考えてるので反対する。

部落解放運動団体補助金など同和に関する経費は、国の上位法が

失効し10年経過しているが、市ではいまだに継続されており廃止すべきである。

国民保護計画推進事業は、武力攻撃を想定した訓練に国民を動員する計画であるので反対する。

児童館運営費は、児童館を市直営にするべきであり、指定管理者制度導入に反対する。

生活保護世帯、障害者、高齢者に対する手当や交付金の支給事業については、温かい施策が次々と縮小・削減されており、弱者に辛い負担を強いているため反対する。

上尾駅整備等事業、上尾中山道東側地区市街地再開発事業および上尾駅東口ペDESTリアンデッキ整備事業について、自由通路の拡幅を決定し、駅周辺整備計画の見直しをせず、当初の計画通り進めて、市財政をひっ迫させる要因となった。また再開発ビルはマンション中心の建物であり、ペDESTリアンデッキへの接続はディベロップパーの利益のために作られると言っても過言ではないため中止を要望し、反対する。

上尾駅整備等事業、上尾駅東口ペDESTリアンデッキ拡幅事業およびそれらに関連する市債について、上尾駅のバリアフリー工事は、

市が実施する事業ではない。市がバリアフリー基本計画を立てれば、JRなどの事業者は国からバリアフリー工事について助成を受けられる。JRがやるべき事業を市の予算で実施したと解釈しており、市が裕福ならばいいが、福祉や住民サービスの事業が削減されている中では反対である。

教育に関する3つの達成目標推進事業、学力向上支援事業は、学力テストで点数を競う風潮をああするより、クラスの人数を減らし、学級支援員や図書館支援員を増やすなどの予算を求めて、反対する。

平成22年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、平成21年度の国保会計は11億7000万円を超える大幅な実質収支赤字となった。平成22年12月議会で値上げのための条例を可決したが、その必要はなく、市民の暮らしを守るために値下げをするべきと要望し、反対する。

若者の不安定雇用が増加しており、国民健康保険の形態が変化している。そういう中で、この税負担は重いという人が多いが、決算を見ると赤字幅が拡大しており、市民の状況や今後の将来を考えて反対する。

議会活性化実施項目 ~これまで実施した主な改革項目と内容~

項目	実施内容
委員会の定例開催	委員会の活動は会期中に限られておりますが、閉会中も委員会を活動させるため、本会議で議決された内容については閉会中も委員会を開催し市政の懸案事項などを調査することにしました。(詳細は、下記「各委員会の定例開催」を参照)
委員会での審査順を変更	これまで委員会の審査順序は議案から先に審査し、請願の審査は最後に行っていました。請願の審査を傍聴する場合、長時間お待たせすることもあることから、付託議案に関連しない請願を審査の始めに行うことにし、請願者の利便性が向上しました。
委員会議事録の公開	本会議の議事録は上尾市議会ホームページで公開していますが、常任委員会と特別委員会の議事録も平成 24 年 4 月以降に開催される委員会から公開していきます。議案は委員会で詳細に審査が行われています。どのような議論があったのか、インターネットで調べられるようになります。
議会だよりの誌面刷新	平成 23 年 5 月号から一般質問者の氏名・会派名・顔写真を掲載しました。また、議会改革の内容や行政視察の報告(平成 23 年度は視察中止)を掲載するとともに、これまで議会報編集委員会で協議・決定してきた内容を「議会報編集委員会申し合わせ事項」として文章化し、引き継いで行くことにしました。

◆ 議会改革 ◆ 議会活性化の取り組み ◆

議会運営委員会では平成 22 年 6 月から「議会の活性化」について協議を重ねてきました。今後も議会活性化の流れを止めることなく進めることが必要であると考え、市議会改選後も議会改革を継続して協議できるように、引き続き事項を作成しました。

ここでは、これまで実施した主な内容をお知らせします。

常任委員会の定例開催

議会活性化の一つとして始まった委員会の定例開催では、市の各種施策について閉会中も調査を行い、その結果さまざまな意見・要望・提言が出されました。各委員会で出された主な項目は次のとおりです。

総務常任委員会 (2 回開催)

〔財政健全化〕

- ・ 市財政の透明化と市民への周知
- ・ 市の総力を結集し、歳入の拡大を図ること

〔職員のスキルアップ・組織改革〕

- ・ 採用システムの再構築
- ・ 職員のスキルアップ
- ・ 情熱と経営感覚を持った職員の育成
- ・ 一貫性のある組織改革

文教経済常任委員会 (3 回開催)

〔商業〕

- ・ 地産地消の商品の活用
- ・ 上尾らしさのある街づくり

〔工業〕

- ・ 工業団地の利便性の向上

- ・ 産業振興センターの整備
- 〔農業〕
- ・ 遊休地対策
- ・ 次世代農業就業者の育成・支援
- ・ 都市型農業の再検討

建設水道消防常任委員会 (1 回開催)

〔上尾道路〕

- ・ 雨水貯留槽は時間何ミリの雨に対応できるのか
- ・ 高架化を国へ要望
- ・ 江川地区環境保全対策検討会議との協議

〔第二産業道路の延伸〕

- ・ 移転者へ代替地の情報提供と相談体制の確立

福祉常任委員会 (4 回開催)

〔上尾市の災害対策〕

- ・ 家具類等転倒防止器具、火災警報器の設置促進
- ・ 既存不適格建物対策
- ・ 防災行政無線のデジタル化
- ・ 液状化危険度マップの見直し
- ・ 地域防災力の強化
- ・ 避難所の生活環境対策
- ・ ボランティアの受け入れ体制
- ・ 緊急貯留システムの整備
- ・ 遺体収容安置場所等の確保

平成 23 年 12 月定例会提出議案とその結果

◎閉会中の継続審査のもの（8 件）

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	公明	政和	友愛	共産	無所属
議案第 32 号	平成 22 年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	×	△
議案第 33 号	平成 22 年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	×	△
議案第 34 号	平成 22 年度上尾市工業住宅団地開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○
議案第 35 号	平成 22 年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○
議案第 36 号	平成 22 年度上尾市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○
議案第 37 号	平成 22 年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○
議案第 38 号	平成 22 年度上尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○
議案第 39 号	平成 22 年度上尾市水道事業会計決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○

◎市長提出議案（10 件）

○=賛成 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	公明	政和	友愛	共産	無所属
議案第 57 号	平成 23 年度上尾市一般会計補正予算（第 3 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 58 号	平成 23 年度上尾市水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 59 号	上尾市瓦葺ふれあい広場条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 60 号	上尾市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 61 号	財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 62 号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	△
議案第 63 号	彩の国さいたまづくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 64 号	埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決	○	○	○	○	○	○
諮問第 4 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき旨答申	○	○	○	○	○	○
諮問第 5 号	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	異議なき旨答申	○	○	○	○	○	○

◎議員提出議案（3 件）

○=賛成 ×=反対 △=賛成・反対

議案番号	件名	議決結果	新政	公明	政和	友愛	共産	無所属
議第 11 号議案	防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○
議第 12 号議案	復興財源を名目にした増税をしないことを求める意見書	原案否決	×	×	×	×	○	△
議第 13 号議案	子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書	原案可決	○	○	○	×	○	○

◎請願（1 件）

○=賛成 ×=反対

請願番号	件名	議決結果	新政	公明	政和	友愛	共産	無所属
請願第 36 号	子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を求める請願	採択	○	○	○	×	○	○

※新政=新政クラブ（7 人）、公明=公明党上尾市議団（5 人）、政和=政和クラブ（5 人）、友愛=友愛クラブ（4 人）、共産=日本共産党上尾市議会議員団（3 人）、無所属=無所属の会・市民の力（3 人）（平成 23 年 12 月定例会当時の会派構成です。）

声の議会だより

デジタルCD版が
マ利用可能だ

「声の議会だより」は市内の視覚障害者の方に、カセットテープ版でご利用いただいておりますが、5 月号から、デジタルCD版も選択できるようになります。ご希望の方は、**議事調査課**（Tel 775-19467）にご連絡ください。

デジタルって何？

Digital Accessible Information System の略で、視覚障害者や印刷物を読むことが困難な人のためのデジタルな情報記録の国際標準規格。視覚障害者が主に使っている音声プレイヤーは、章やページでの頭出しができるよう編集したものです。

デジタルCD再生機について

埼玉点字図書館では、デジタルCDを利用してみたいと考えている方に、体験用として再生機の貸し出しを行っています。申込方法など詳しくは、**埼玉点字図書館**（Tel 652-14824）へ

なお、視覚障害で1級または2級の身体障害手帳を持つ人には補助制度があります。要件など詳しくは、**障害福祉課**（Tel 775-15122）へ

ここが問題
そこが
聞きたい
Q&A

12月定例会の一般質問は、12月15・16・19日の3日間行われ、14人の議員が登壇し、市政全般36項目にわたって市当局の見解を求めました。
また、3日間で138人の皆さんが議会を傍聴しました。
一般質問の主な内容は次のとおりです。(各議員の一般質問の中から1項目のみを掲載しました)

◆ 環境・産業



公明党上尾市議団
道下 文男

製造業者支援事業の実施を

問 今後の中小企業活性化施策で最も重要なことは、経営者へ積極的にアプローチし、経験豊富な指導者によるアドバイザーを行っていくことである。そこで、上尾商工会議所で行っている「ものづくり指導者養成講座」を修了した約50名の方々や、アブセック（上尾地区ビジネス・キャリア・エンジニアサークル）の皆さんにご協力をいただき、市内製造業者支援事業を実施していくことを提案するが、市の見解を伺いたい。

答 上尾商工会議所では、アブセ

ックの皆さんの協力により、市内中小企業に対する出前講座、出張講演を行っており、「ものづくり指導者養成講座」の修了者にも、この出前講座、出張講演の講師として登録していただく予定である。市としても、アブセック会員など、長年の経験に基づくノウハウやスキルを活用させていただきたいと考えており、市民に対する情報提供も行っていきたい。

その他の質問

- ・ 防犯ボランティア活動の推進
- ・ 障がい福祉施策
- ・ 市民との協働によるまちづくり



政和クラブ
田中 元三郎

今後の放射線測定について

問 12月定例会では、放射線測定

器を購入する補正予算が審議されたが、どのような測定器を購入し、どのように活用するのか詳細を伺いたい。

また、学校や保育所の給食食材の測定方法や、学校や保育所、幼稚園での詳しい測定の結果、毎月0・23マイクロシーベルトを超える汚染場所を確認した場合の除染について伺いたい。

答 今回購入する予定の放射線測定器は、小型のシンチレーション式サーベイメーター110台で、市内の保育所、小・中学校、公共施設などに配布するとともに、そのうち16台を市民に貸し出しする予定である。貸し出し対象者・方法などについては、他市の状況などを参考にしながら、現在検討している。

また、食材用の放射能測定器を1台購入し、小・中学校や保育所などの給食食材のほか、農産物直売所で販売する農産物の測定を行う予定である。測定の方法、判断基準など運用マニュアルについては、現在検討中である。

汚染場所が発見された場合、除染で発生した土などは施設内で原則処理し、除染を行った箇所や放射性物質を含んだ土を埋めた箇所

については、その後も継続的に測定を行う。



公明党上尾市議団
長沢 純

ご当地グルメ祭りの今後は

問 昨年11月12日にあげお産業祭と同時開催された「キラリ☆あげおご当地グルメ祭り」は、上尾発のB級グルメとして大盛況であったが、今後、上位入賞グルメの商品化や東側エリアでの開催、上尾スイーツの開発など、ご当地グルメに対する取り組みや方向性について伺いたい。

答 ご当地グルメの今後の取り組みとしては、「キラリ☆あげおご当地グルメ祭り」での上位入賞グルメの商品化への取り組みや市内複数店舗での販売の働きかけ、また埼玉B級ご当地グルメ王決定戦への参加などを視野に入れていく。出品者の意向を伺いながら、地元の名物として定着するグルメが生まれるよう実行委員会や上尾商工会議所と連携し進めていきたいと考えている。

東西での開催提案については、現在はイベントの相乗効果を考慮



キラリ☆あげおご当地グルメ祭りの様子

し、あげお産業祭と並催している
ので、グルメ祭りの単独開催は予
定していないが、今後、出店者や
来場者の増加により、規模の拡張
などを考慮する場合には検討して
いきたい。

上尾スイーツの開発について
は、今回のご当地グルメ祭りでは、
11品中3品がスイーツとなっており、
そのうち2品が上位入賞して
いることから、スイーツの人気や
その可能性を認識している。当面
はご当地グルメ祭りの中でスイー
ツの参加を促していくが、商工会
議所や関係団体の意見を伺いな
がら、ご当地スイーツについても調
査研究をしていきたい。

〜その他の質問〜
・放射能教育について

◆ 消防・防災



新政クラブ

岡田 武雄

消防広域化推進計画の
進捗よく状況は

問 所沢市を中心とする県西部5
市の消防が広域化し、平成25年度
末の新組織設立、広域再編を目指
す、との新聞報道があったが、上
尾市における消防広域化の現状に
ついて伺いたい。

答 平成20年3月に策定された
「埼玉県消防広域化推進計画」で
は、上尾市は、さいたま市、桶川
市、北本市、鴻巣市、そして伊奈
町との5市1町4消防本部で構成
する第1ブロックに所属すること
となり、県の指導により担当者レ
ベルで勉強会を重ねてきた。

その中で、特に人員適正化計画、
あるいは消防施設を統一するため
には長い期間と多額の費用が必要
であること、さらに、さいたま市
の離脱もあり、第1ブロックでの
広域化については、将来の可能性
は否定しないものの、上尾市とし
ては時期尚早と考えている。

なお、その後の協議では国、県

や各ブロックの動向を慎重に見極
めながら検討すべきとの結論に達
し、一年以上にわたる勉強会を終
結したところである。

〜その他の質問〜

- ・自転車について
- ・暮らしについて
- ・子どもと自然について



公明党上尾市議団

伊藤 美佐子

今後の防災対策について
市の決意は

問 昨年、我が国は多種多様な災
害に一遍に見舞われた。東日本大
震災による地震、津波、原子力発
電所の事故など、上尾市でもその
ような災害の現場でさまざまなニ
ーズに直面したと思うが、市民の
安心・安全と財産を守ることは市
の責務であると考えている。そこ
で来年度見直される防災計画を
はじめとして、今後の防災対策
について市民を守る上から、市の
決意を伺いたい。

答 市民の生命・財産を守ること
は、市に課せられた大きな課題
であり責務であると考えている。

昨年3月11日に起きた東日本大
震災は、これまで私たちがいまだ

経験したことの無い色々な問題が
生じた。その中で職員一丸となり、
市民の皆様の命を守るため一生懸
命に働かせていただいた。防災
対策については、今後も真剣にス
ピード感をもって対応していきたい。

〜その他の質問〜

- ・救急医療情報キット導入について

◆ 福祉



友愛クラブ

池野 耕司

生活保護の実地確認調査や
就労支援は

問 生活保護受給者は平成23年7
月末現在で205万人を超え過去
最多となり、増大する生活保護費
抑制のための見直しや、不正受給
問題も深刻化している。そこで生
活保護受給申請時の認定判断と実
地確認調査やその後の就労支援が
大切だと考えるが、どんな方法で
行っているのか伺いたい。

答 生活保護申請があった場合、
市のケースワーカーや査察指導員
が世帯の預貯金や自動車の保有状
況などの資産調査や世帯状況を把
握するための実地調査を行って

る。すでに受給している世帯に対しては、定期的な訪問し、収入状況や生活状況などの確認を行い、稼働能力の判断が必要な被保護者については、主治医に対し病状に関する調査を行うなど生活保護の適正実施に努めている。

また市では、稼働能力を有する被保護者の就労を支援するため、平成21年10月から就労支援員1名を非常勤職員として配置している。平成24年度は就労支援員を増員し、さらに自立に向けた取り組みを行っていききたい。



日本共産党
上尾市議会議員団
遠藤 朝子

安心して受けられる介護保険制度を

問 介護保険が導入されて11年がたつが、見直しのたびに強調されるのは、制度の維持であり、膨れ上がる給付費を賄うために保険料の値上げと受けられるサービスの制限、利用料の引き上げなどが繰り返され、介護サービスが受けにくくなっているのが実態である。今回の見直しの基本的な考え方と市の介護保険事業計画の見直しの特徴について伺いたい。

答 介護保険法の見直しの基本的な考え方は、高齢者が地域で自立した生活を営めるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みを進めることである。具体的施策として①医療と介護の連携②介護人材の確保とサービスの質の向上③高齢者の住まいの整備④認知症対策の推進⑤保険者による主体的な取り組みの推進⑥保険料の上昇の緩和である。市はこの考え方を基に、平成24年度～26年度を事業期間とした第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定中である。

その他の質問
・生活保護行政について

◆行財政一般



政和クラブ
野本 順一

点字ブロック周辺の放置自転車対策は

問 JR上尾駅周辺では、通勤・通学に急ぐあまり自転車を無造作に置いていく人がおり、駅東口丸広付近の放置自転車が点字ブロック

クの利用に支障を来しているという市民からの意見があるが、どのような対策を考えているのか伺いたい。

答 JR上尾駅周辺の放置自転車対策として、付近の店舗が開店する前の午前6時45分～9時45分の3時間、日曜日を除く毎日、自転車整理指導員を配置している。主に通勤・通学者の自転車を対象に、警告札を張りつけて、階段下の通行の邪魔にならない場所に自転車を整理・移動し、指導に努めている。

その他の質問
・二ツ宮五差路
・上尾保育所、乳幼児相談センター前の道路かさ上げについて



朝の自転車を整理する指導員

◆教育



無所属の会・
市民の力
秋山 かほる

学校給食における放射性物質の測定は

問 市は、食品放射能測定器を購入して学校給食の食材を検査する予定だが、頻繁に食される米、パン、牛乳、卵、魚は、長時間の測定が必要であるため、測定ベクレルの精度を上げて測った後、個々の食材情報を収集しながら計測していく方法が良いと考える。また、弁当持参を希望する保護者に対して、それを拒否するべきではないと考えるが、それぞれについて見解を伺いたい。

答 測定器の活用方法と食材の測定時間については、関係各課で食品放射能測定システムの運用方法の調整が必要であるため、今後検討していきたいと考えている。
弁当の持参については、学校給食は、教育の一環として実施しており、すべての児童・生徒が給食を食べることを前提に運営しているが、食物アレルギーなどの特別な事情により、個々に対応してい

る。なお、保護者の不安を解消することを目的に、給食食材の検査を行い、今後も安心・安全、おいしい学校給食の提供に努めたい。

〜その他の質問〜

- ・新学習指導要領に伴う市の予算について



日本共産党
上尾市議会議員団
糟谷 珠紀

発達障害への相談体制の強化を

問 知的発達に遅れはないが学習面・行動面で著しく困難である発達障害について、市における児童・生徒数と、発達相談件数や対応について伺いたい。

答 また、市では臨床心理士を10年前から配置しており、その役割はますます大きくなっていると思うが、現在の仕事内容と相談体制強化など、今後の方向性を伺いたい。

問 本市における発達障害の児童・生徒数は125名で、平成22年度の相談件数は、119件、2357回であった。相談は年々増加し、内容も複雑化してきており、対応としては、電話相談の後、面談を通して詳細な実態を把握し、状況によっては発達検査を実施し

ている。

臨床心理士の職務は、発達障害のある児童・生徒や保護者に対し、臨床心理的な視点から適切な指導・助言を行い、自立・社会性を養うことである。発達相談の重要度も増していることから、平成24年度は臨床心理士の増員を図り対応していきたいと考えている。

〜その他の質問〜

- ・新たな開発におけるごみ置場の設置について

都市整備



無所属の会・市民の力
佐野 昭夫

水交會住宅の道路整備は

問 原市6区内の水交會住宅へのアクセスは、国道16号線からの1経路しかない。6年前に地元住民から既存の認定外道路の拡幅整備について要望書が提出されたが、地権者の同意が得られず、解決の見通しもたっていない。新ルートの検討など、今後の取り組みについて伺いたい。

答 認定外道路E055号線は幅員0・91メートル、高低差4メー

トルと通行するには大変危険な道路であることから、防災上並びに基盤整備の観点から道路拡幅計画への取り組みを始めたが、土地所有者との調整や道路境界について未確定な場所があり、現在に至っている。このようなことから、当該路線以外にも視野に入れ、市道としての認定に向けた調査や必要不可欠な権利者合意が早期に得られるよう、住民の方々と一緒に検討していきたいと考えている。

〜その他の質問〜

- ・自転車交通対策について
- ・田畑における水路や河川の管理と利用について



日本共産党
上尾市議会議員団
西村 テル子

むさしのグランドホテル脇に信号機の設置を

問 むさしのグランドホテル脇の交差点は、国道16号線の下を今羽町方面に向かう市道1038号線と、50616号線および50617号線、さらに認定外路線が接続し、非常に危険な交差点である。これまで路面標示や停止線の設置などが行われたが、歩行者が安全に横断するためには、むさしのグ

ランドホテル脇に信号機を設置する以外にないと考えるが、市の見解について伺いたい。

答 むさしのグランドホテル脇の交差点は、変則的な形をしており、危険な交差点である。このような変則的な交差点の安全対策として、市は上尾警察署と協議し、平成17年度に、区画線、路面標示などの整備を実施した。信号機設置に関しては、県の公安委員会が設置および管理を行っていることから、今後も引き続き関係機関に要望内容を伝えていく。

〜その他の質問〜

- ・道路整備について
- ・原市南保育所の建て替えについて
- ・原市集会所の今後について他1件



むさしのグランドホテル脇の交差点



延伸される予定の東口ペDESTリアンデッキ

問 上尾駅東口ペDESTリアンデッキを中山道東側再開発事業ビルまで延伸する理由、延伸にかかる総事業費と再開発事業者の費用負担の有無について伺いたい。

答 上尾駅東口ペDESTリアンデッキの延伸は、駅伝などの交通規制時における駅利用者の通行経路の確保や慢性化する駅前交差点の渋滞の解消、歩行者ネットワークの形成によるにぎわいの交流拠点づくりを目的としている。総事業



無所属の会・
市民の力

井上 茂

東口ペDESTリアンデッキの延伸の費用は

費は2億5000万円程度の見込みであり、再開発事業者には費用負担を求めている。これは一般的な商業ビルへの延伸・接続とは異なり、都市再開発法に基づく市街地再開発事業によって建築される再開発ビル内の自由通路と接続することで、エレベーターなどのバリアフリー設備や多機能トイレ、授乳室などの施設が相互利用できるようにになり、再開発事業と併せて事業化することにより経費節減にもなる。JR上尾駅からペDESTリアンデッキ、そして再開発ビルの自由通路へと歩行者が安心して安全に通行できることから、再開発事業者も市民への利便性の向上に寄与し、駅前新市街地整備を

負担していると考えているためである。

〜その他の質問〜

- ・放射線から市民を守ることに ついて



友愛クラブ

深山 孝

上平地区の本下水道の整備は

問 上平地区の本下水道整備において、上平第二地区まちづくり協議会や、下水道が近くまで整備されている箕の木住宅地区、青葉台団地地区の住民の方々から、下水道整備を一日も早く実現してほしいとの要望を聞くが、今後の整備

方針について伺いたい。

答 現在、市では市街化区域を重点的に下水道の整備促進を行っている。上平第二地区については、県および関係機関と協議を進めており、今後は早い時期に事業認可を取得し、下水道工事に着手していきたいと考えている。また箕の木住宅地区、青葉台団地地区については、市街化区域に隣接し、多くの住宅が形成され、下水道整備の費用対効果も見込まれることから、市街化区域の整備状況を踏まえ、今後事業化に向け関係機関と調整を図っていきたいと考えている。

〜その他の質問〜

- ・安心、安全対策について
- ・行政改革について

今議会で決まった人事

人権擁護委員に

神田 道子 氏

人権擁護委員 神田道子氏の任期は、平成24年3月31日で満了となるが、同氏を再び推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。なお、任期は、平成24年4月1日～平成27年3月31日です。

人権擁護委員に

小島 勝 氏

人権擁護委員 小島勝氏の任期は、平成24年3月31日で満了となるが、同氏を再び推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。なお、任期は、平成24年4月1日～平成27年3月31日です。

採択された請願

市議会に提出された請願は、委員会審査を経て12月22日の本会議で採決し、1件を採択しました。

子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を求める請願

代表者 埼玉県保育問題協議会
代表 牧 裕子 氏

委員会活動 H23.10.16→H24.1.15

3月定例会日程(案)

2月28日 開会
 3月 2日 質疑、委員会付託
 6日,7日
 委員会(総務、建設水道消防)
 8日,9日
 委員会(文教経済、福祉)
 12~14日,16日,19日
 一般質問
 22日 閉会



▲瓦葺ふれあい広場の現地調査
(文教経済常任委員会)



▲総務常任委員会の様子

*** 次回の3月定例会は、2月28日に開会の予定です。**

請願、陳情、要望の提出期限は、2月22日(水)までとなります。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

なお、上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

上尾市議会 HP アドレス
<http://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>

議会報編集委員会

- 委員長 鈴木 茂
- 副委員長 浦和 三郎
- 委員 小川 明仁
- 委員 星野 良行
- 委員 前島 るり
- 委員 斉藤 哲雄
- 委員 秋山 もえ
- 委員 田中元三郎

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	12/13	・12月定例会提出議案2件を審査
文教経済常任委員会	12/14	・12月定例会提出議案3件を審査
建設水道消防常任委員会	12/13	・12月定例会提出議案4件を審査
福祉常任委員会	12/14,19	・12月定例会提出議案2件、請願1件を審査
議会運営委員会	随時	・議会運営について協議(協議回数7回)
議会報編集委員会	10/19 12/15 1/6	・「あげお議会だよりNo.156」の内容について協議 ・「あげお議会だよりNo.157」の内容について協議 ・「あげお議会だよりNo.158」の内容について協議

意見書2件を原案可決

12月定例会最終日の12月22日、議員提出議案として意見書3件を提出し、2件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、総務大臣 内閣府特命担当大臣(防災)、
 内閣府特命担当大臣(男女共同参画)、衆議院議長、参議院議長

◆子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、
 文部科学大臣、内閣府特命担当大臣(少子化対策)、衆議院議長、
 参議院議長